

アルゼンチン治安情勢（2018年4月－6月期）

1 経済・社会・治安情勢

4月1日以降、公共交通機関、ガス、電気等の値上げが実施されるとともに、4月下旬以降の急激なペソ安を受け、政府がIMFに財政支援要請をする等の経済情勢もあり、今期も各地で頻繁に賃上げや政府の経済政策を批判するデモやスト等が実施された。特に6月25日に実施された労組等による現政権となって3回目となるゼネストは、暴力的な活動はなかったものの、公共交通機関、空港、銀行、公立学校等の各労組団体が加わった24時間のゼネストとなったため、これらサービスの停止と各地での道路封鎖の影響からブエノスアイレス（以下「ブ」という。）市等では市民生活と経済活動に影響が出た。

治安情勢については、6月末に治安省及びブ市がそれぞれ発表した統計資料によると、犯罪発生件数は減少傾向にあるものの、今期も引き続き銃器等を使用した殺人、強盗、誘拐等凶悪犯罪が発生しているため十分に注意する必要がある。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）政府等の発表

ア 6月末に治安省が公表したアルゼンチン全国を対象とした治安統計によると、2017年に全国では2、279件の殺人事件が発生し、前年の2、625件と比べ約14%減少し、10万人当たりの殺人発生率は5.17件となっている。強盗及び窃盗犯罪も減少しているが、強姦や傷害事件の発生率は若干増加している。州別で殺人事件が多く発生したのは、ブ州（992件）、サンタフェ州（277件）、ブ市（143件）であり、強盗・窃盗犯罪はブ州（強盗・窃盗併せて133、884件）、ブ市（同110、369件）、コルドバ州（同90、345件）であった。ブ州及びブ市では、殺人事件は減少傾向にあるものの、強盗・窃盗事件が若干増加している。（別紙関連資料1）

イ 6月28日、ブ市は更新された市の犯罪マップをベースにした犯罪統計を発表した。同統計によると、2017年にブ市ではモトチョロス強盗（バイクを使用したひったくり強盗）が10、838件が発生し、2016年と比べ7.46%増加している。これは、市内で1日に29件の割合で発生していたことになる。

発生件数で最も多い地区は、1、093件のパレルモ地区（対前年比約18%増）で、同地区だけで1日に3件の割合で発生していた。また、レコレータ地区では、450件から640件と約42%増加している。

地区別でモトチョロス強盗発生数の増加が顕著であったのは、ラ・ボカ地区（39→90件）、ビジャ プエレドン地区（104→175件）とビジャ レアル地区（24→39件）であった。

強盗事件についてはパレルモ地区が最も発生件数が多く、2016年の5、035件から5、353件と約6%増加した。（別紙関連資料2）

ウ 6月にブ市警察が発表したところによると、ブ市警察をより市民に近いものとするを目的として、7月1日から市警察の運営改革を行うとした。5年間かけて実施されるこの改革は、連邦警察から受け継いだ54の警察署を、市の行政区域と合致する15の警察署（Comisaria Comunal）と各警察署の下に置かれる28の分署（Comisaria Vecinal）の計43署に減らし、管轄エリアを変更するものである。各署の配置については、現有の建物の再利用や、犯罪マップの分析に基づいて戦略的に新たに創設されるものがある。（別紙関連資料3）

エ 鉄道・バス乗車員組合が4月に発表したところによると、2017年にブ市及びブ市から約40km圏内の首都圏で運行している路線バス内において、運転手に対する暴行及び強盗事件が1日に平均15件発生したと明らかにした。同圏内では、1日に約1万9千台のバスが走行し、約1千万人が利用している。

（2）邦人被害事案（今期に当館へ寄せられた邦人被害の一部を抜粋）

ア 4月1日午前10時頃、レティーロ駅前において、当地を観光で訪れていた邦人女性が、市内中心部に向かう途中、老齢の男性に背中に汚物がついていると言って声をかけられ、バックパックを下ろして拭き取りを手伝ってもらっていた際、下ろしたバックパックを何者かに盗られた。バックパックには旅券等が入っていた。

イ 5月24日午後9時30分頃、レティーロ地区の幹線道路リベルタドール通りにおいて、当地在住の邦人男性が、仕事を終えて事務所から私有車で帰宅途中、赤信号のため停車した際に、窓拭きをした若者にチップを渡そうと助手席側窓を開けたところ、何者かが運転席側ドアを叩き、被害者がそれに気をとられていたところ、若者が開いていた助手席窓から手を伸ばし、ダッシュボードに設置してあったスマートフォンを強奪し逃走した。

（3）邦人以外の被害事案（今期に当地にて報道された事件の一部を抜粋）

ア 殺人等

① 4月14日午後11時頃、ブ州ラ・マタンサ市において、州警察官が自宅前で車から降りたところを車で現れた2人組の男に襲われた。警官は所持していた銃で抵抗し、犯人等との間で23発以上の銃撃戦が繰り広げられ、警官は胸部に銃弾を受けて死亡した。犯人はそのまま逃走した。数時間後、警察は容疑者として27歳の男を逮捕し、もう1人の犯人の行方を追っている。犯行に使用された車はブ市フロレス地区のスラム街で燃えた状態で発見された。

② 4月26日午前11時頃、ブ市コレヒアレス地区の跨線橋において、下校途中の13歳の少女が、刃物を持った男に襲われて強姦された。翌27日夜、被害者の家族や隣人等は治安改善を求める抗議デモを実施した。

③ 6月5日夜10時半頃、ブ市ベルグラノー地区の民家において、麻薬密売の疑いで起訴されていた59歳のメキシコ人男性と30歳の息子が、突然現れた男に銃で発砲されて死亡した。殺害現場には被害者の女性弁護士も居合わせた。トイレに閉じ込められただけで被害に遭わなかった。男は何も盗まず逃走し、警察は麻薬関連の犯罪として捜査を進めている。

④ 6月26日正午頃、ブ市レコレータ地区の路上で、下校途中の16歳の少女が、突然現れた男に襲われ、車で連れ去られた。事件発生から数時間後、少女は同地区内の交差点で発見された。少女は強姦されたと訴えている。

イ 強盗

① 4月23日正午頃、ブ市パレルモ地区のパセオ・アルコルタ・ショッピングモール付近で、私服の男性警官が歩道を歩いていたところ、バイクに乗った男に襲われ、警官は所持していた銃で抵抗し犯人との間で銃撃戦となった。警官と犯人はそれぞれ負傷し、犯人はバイクに乗って逃走した。その後、現場から400m離れた工場で逮捕された。

② 5月1日朝、レティーロ駅到着直前であったベルグラノー・ノルテ線の列車内で、男が刃物を使用し乗客に対し強盗を謀ろうとした。しかし、偶然現場に居合わせた私服警官がこの男を銃撃し殺害した。警察はこの警察官の行為が過剰防衛にあたりとみて、警察官を逮捕した。

③ 5月12日午後1時半頃、ブ州ラヌス市の銀行内で、預金するために窓口で待っていた女性が、顧客を装った男に現金145万ペソが入った鞆を奪われた。男は銀行から逃走した。警察は、銀行等の防犯カメラの映像により、犯人の特定を急いでいる。

④ 5月18日夜、ブ市モンセラット地区のレストランに、武装した3人組が押し入り、従業員と客を襲って金品を要求した。しかし、偶然現場に客として居合わせた私服の州警察官がこれに気づき、持っていた銃で阻止しようとして、強盗との間で銃撃戦に発展した。これにより、強盗2人が負傷して逮捕され、もう1人は逃走した。その他の客等に怪我等はなかった。

⑤ 5月20日午前1時半頃、ブ市レコレータ地区において、女性2人が車で走行していたところ、バイクに乗った2人組の強盗に襲われ、開けていた窓から携帯を強奪された。被害者の女性等は逃げていく犯人を車で追いかけて、逃げるバイクに追突した。強盗等は路駐していた車に激突し、1人が死亡し、もう1人は重傷で病院に搬送された。

⑥ 6月9日午後、ブ市ベルグラノー地区のベルグラノーR駅付近で、女優のアンドレ・フリヘリオ氏が友人と歩いていたところ、背後から現れた男に腕時計を強奪された。

3 テロ・爆弾事件発生状況

(1) テロ情勢

近年アルゼンチンの治安当局が「テロ」と認定する活動及び爆弾事件は確認されていない（大規模爆弾テロは、1992年3月及び94年7月にイスラエル関連施設（在亜イスラエル大使館及びAMI A：イスラエル共済組合会館）に対し発生）。しかしながら、頻度は低いものの、爆発物事案（脅迫を含む）は度々報道されている。

(2) 爆弾事件

6月26日午後3時半頃、ブ市バラカス地区の警察28番署の女性トイレ内で手製爆弾が爆発した。人的被害は無かった。警察の調べでは、手製爆弾は3つの鉄パイプに火薬が詰められており、時計式の時限装置が装着されていた。事件に関する犯行声明は出ていないものの、市政府は、連邦警察から市警察に異動になった自己の処遇等に不満をもつ警察官による犯行との見方を示している。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

(1) 4月17日、ブ市近郊でほぼ同時に2件の誘拐事件が発生した。1件目は、午後7時半頃、モロン市で64歳の男性が自宅前で数人組の武装グループに誘拐され、家族に対し身代金が要求された。男性の妻は誘拐犯と交渉し、指示された場所で8万ペソを渡し、同日午後11時頃、男性はブ市リニエルス地区で解放された。誘拐犯が犯行に使用した車両は盗難車で、同地区近郊のテレス・デ・フェブレロ市内の貧困街で燃やされた状態で発見された。

2件目は、午後9時頃、モレノ市において、40歳の女性が車で走行していたところ、3人組の武装した男に車ごと誘拐された。誘拐犯は、家族に対し身代金として当初50万ペソを要求し、家族が交渉の末18万ペソを犯人に支払い、同日午後10時半頃に女性を解放した。

(2) 4月25日夜、ブ州ビセンテ・ロペス市において、15歳の娘と車で走行していた男性が、4人組の武装グループに誘拐された。誘拐犯は、被害者家族から23万ペソの現金を受け取った後、被害者2人をブ市で解放した。その後、被害者はすぐに警察に通報し、警察はヘネラルパス通りで犯人の車を特定し、40発以上の銃弾が飛び交う銃撃戦と追跡が繰り返された末、誘拐犯全員が逮捕された。車内からは機関銃とアサルトライフル等が押収されている。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

日系進出企業が脅迫やバッシング等の嫌がらせ行為の対象となったり、現地で活動を展開する上で明らかな阻害要因となりうる事項は確認されていない。

(了)

(別紙1) 1

2015年～2017年における10万人あたりの犯罪統計 (アルゼンチン治安統計2017より抜粋)

※各数値は資料源により差違があるため、あくまで参考として利用すること

犯罪の種類	2015		2016		2017		発生率 変化 2016- 2017	発生数 変化 2016- 2017
	発生数	発生率	発生数	発生率	発生数	発生率		
Homicidios dolosos (殺人)	2,837	6.6	2,625	6.02	2,279	5.17	-14%	-13.1%
Lesiones dolosas (傷害)	189,830	440.1	149,077	342.0	159,961	363.2	+6%	+7.3%
Violaciones (強姦)	3,746	8.7	3,717	8.5	3,921	8.9	+4%	+5.4%
Amenazas (脅迫)	193,944	449.7	169,351	388.5	177,347	402.7	+3.6%	+4.7%
Robos (強盗)	433,617	1005.3	427,473	980.7	395,741	898.5	-8.3%	-7.4%
Hurtos (窃盗)	271,921	630.4	272,128	624.3	254,581	578.0	-7.4%	-6.4%

統計上は犯罪は改善傾向にあるも

→ 「アルゼンチンは安全」との思い込み・油断は禁物

資料源：アルゼンチン治安省統計資料2017「Sistema Nacional de Información Criminal (SNIC) Año 2017」より抜粋

州別犯罪発生状況

2」



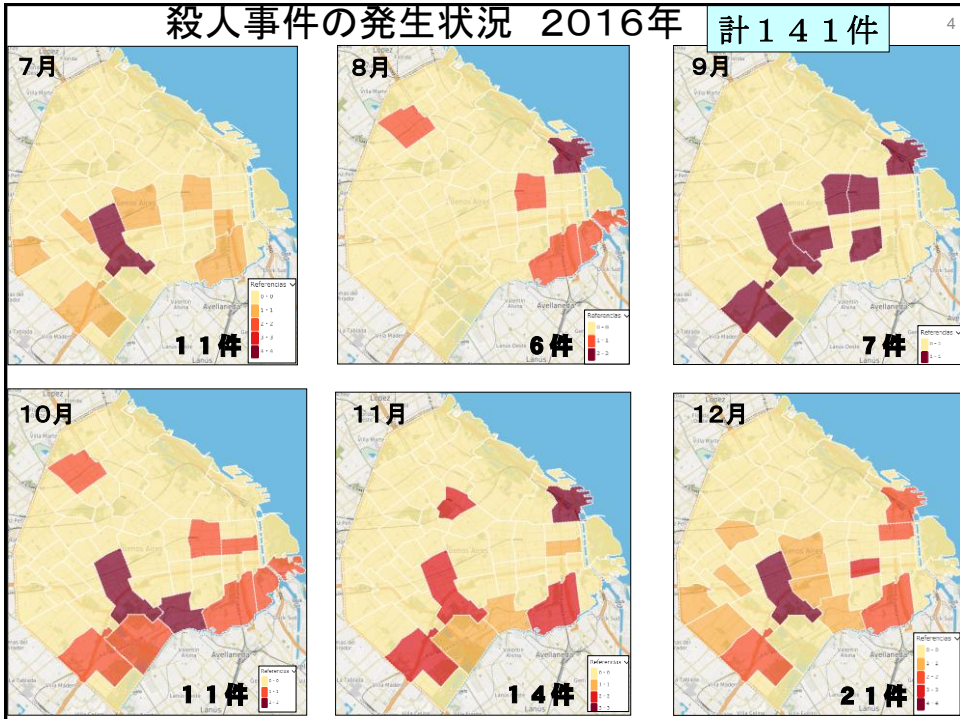
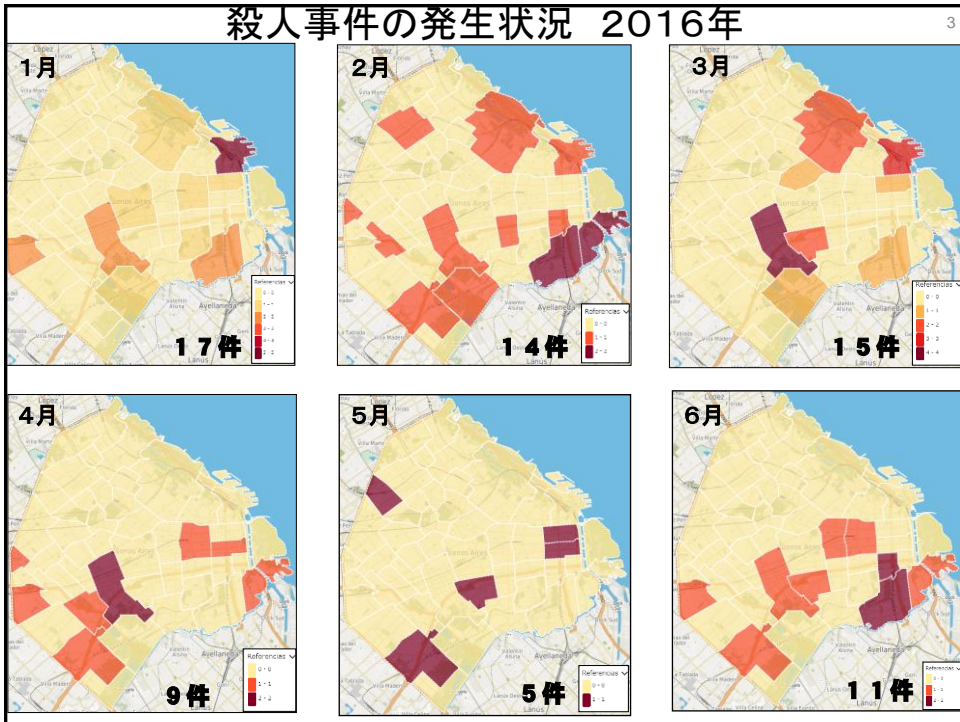
Provincia	殺人		強盗		窃盗	
	Cantidad	Tasa	Cantidad	Tasa	Cantidad	Tasa
Buenos Aires ブエノスアイレス州	992	5,83	81145	476,8	52739	309,9
Catamarca	16	3,96	5586	1381,2	3575	884,0
Chaco	62	5,31	5623	481,4	7832	670,5
Chubut	43	7,31	4325	735,6	2890	491,5
Ciudad Autónoma de Buenos Aires ブエノスアイレス市	143	4,67	68219	2226,7	42150	1375,8
Córdoba コルドバ州	116	3,18	60812	1668,2	29533	810,2
Corrientes	12	1,10	5464	500,9	2436	223,3
Entre Ríos	49	3,64	7135	529,5	7081	525,5
Formosa	30	5,09	3343	566,7	3587	608,1
Jujuy	26	3,49	7361	987,7	4745	636,7
La Pampa	5	1,43	1534	439,2	2790	798,7
La Rioja	6	1,59	2062	545,4	2104	556,5
Mendoza	98	5,08	25308	1312,4	18326	950,4
Misiones	54	4,43	5267	432,2	8673	711,6
Neuquén	33	5,17	13047	2045,3	5855	917,8
Río Negro	26	3,62	7645	1063,8	5415	753,5
Salta	96	7,01	16815	1227,1	15948	1163,8
San Juan	15	1,98	6663	881,4	7723	1021,6
San Luis	12	2,45	1986	405,9	1345	274,9
Santa Cruz	12	3,54	2449	723,4	1774	524,0
Santa Fe サンタフェ州	277	8,02	40490	1172,4	12408	359,3
Santiago del Estero	37	3,90	7816	824,3	7995	843,2
Tierra del Fuego	1	0,62	871	541,9	1045	650,2
Tucumán	118	7,22	14775	904,2	6612	404,7
Total País	2279	5,17	395741	898,5	254581	578,0

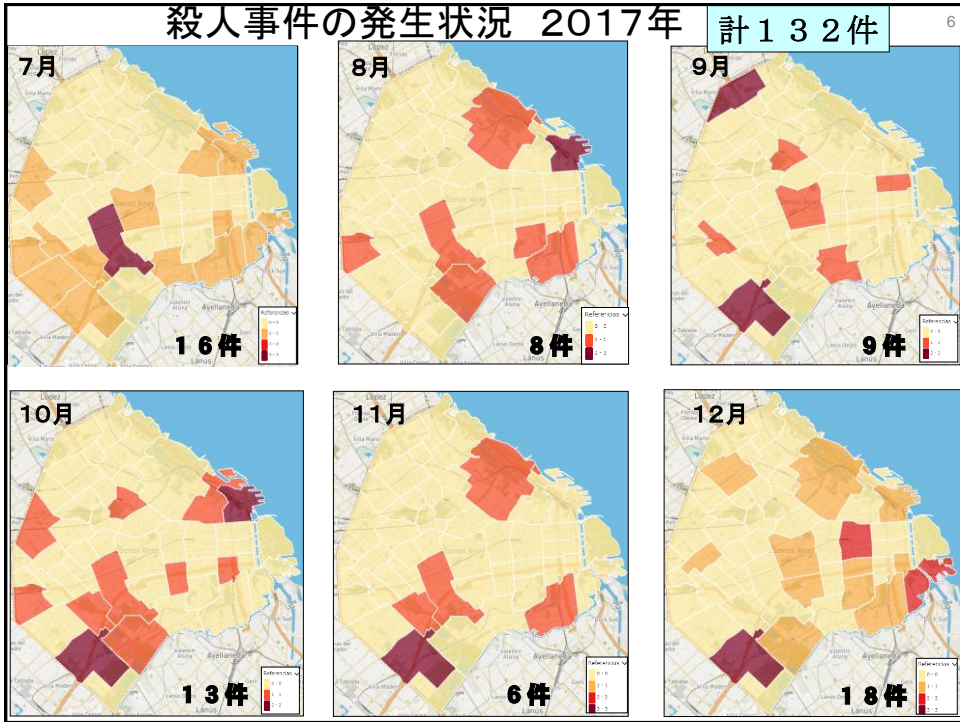
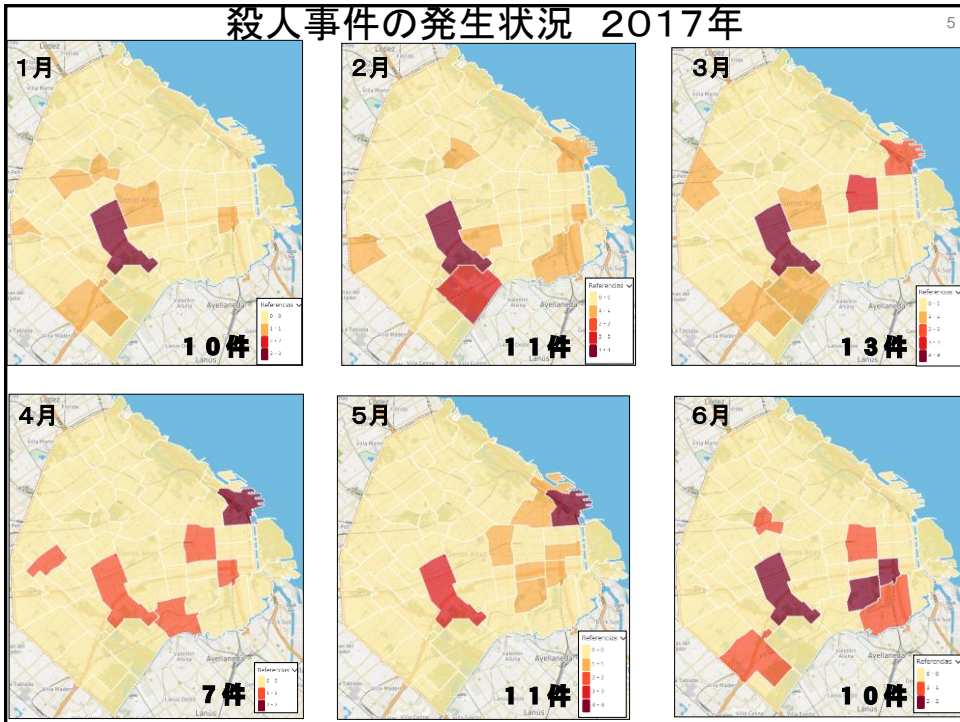
資料源：アルゼンチン治安省統計資料2017「Sistema Nacional de Información Criminal (SNIC) Año 2017」より抜粋

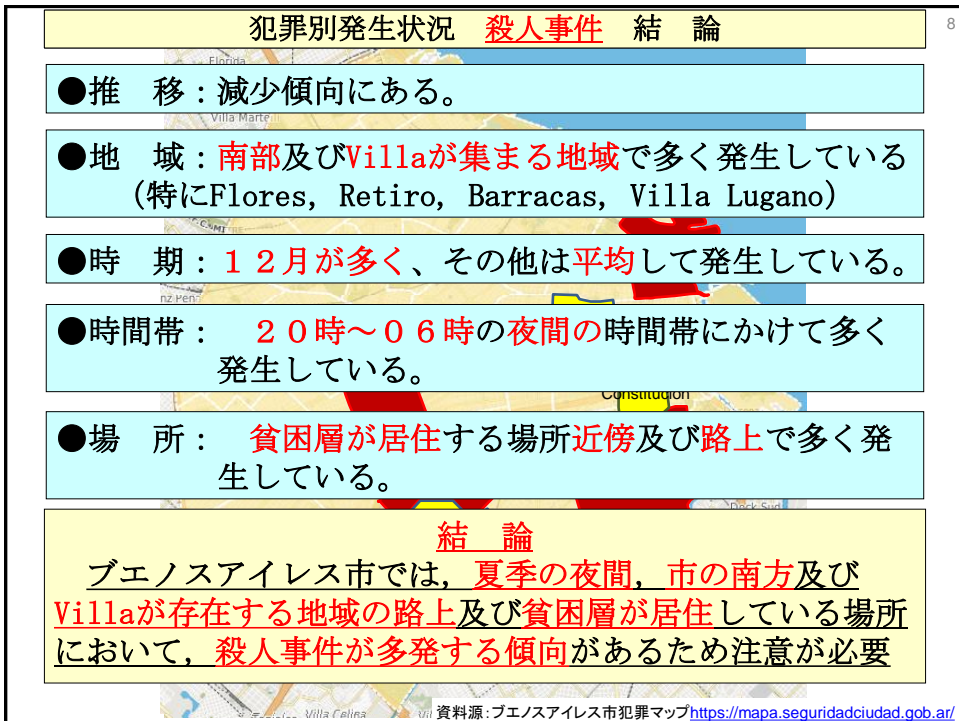


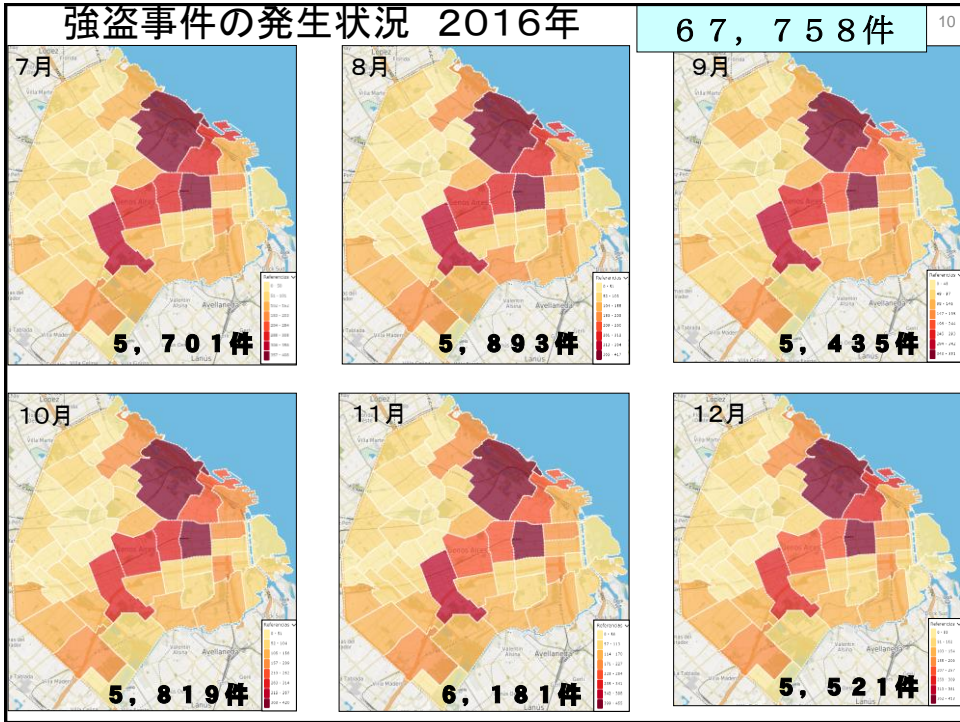
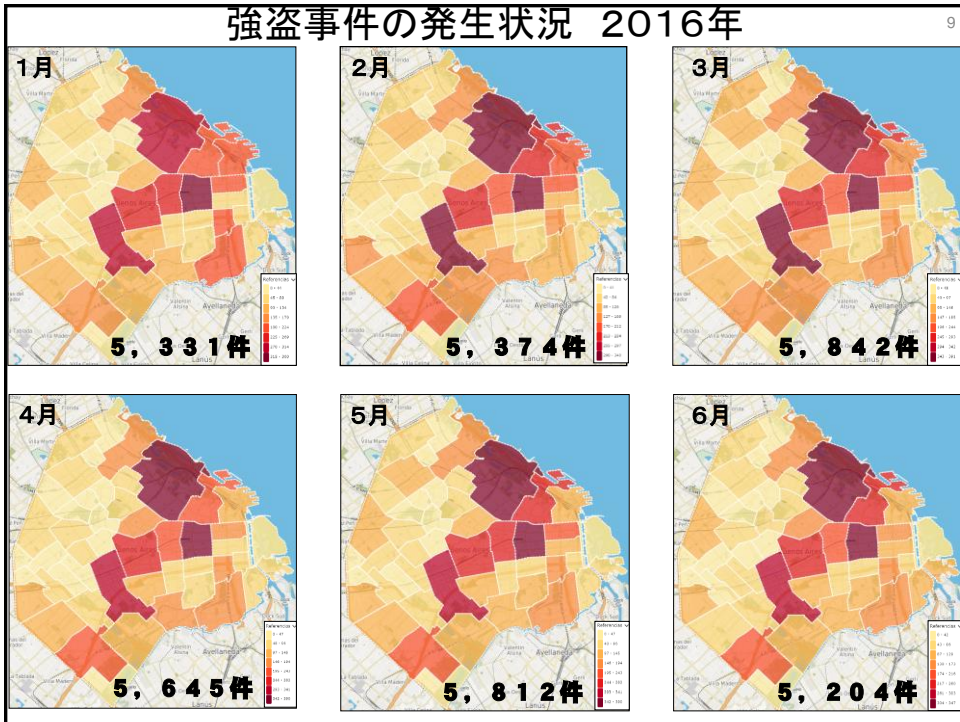
2

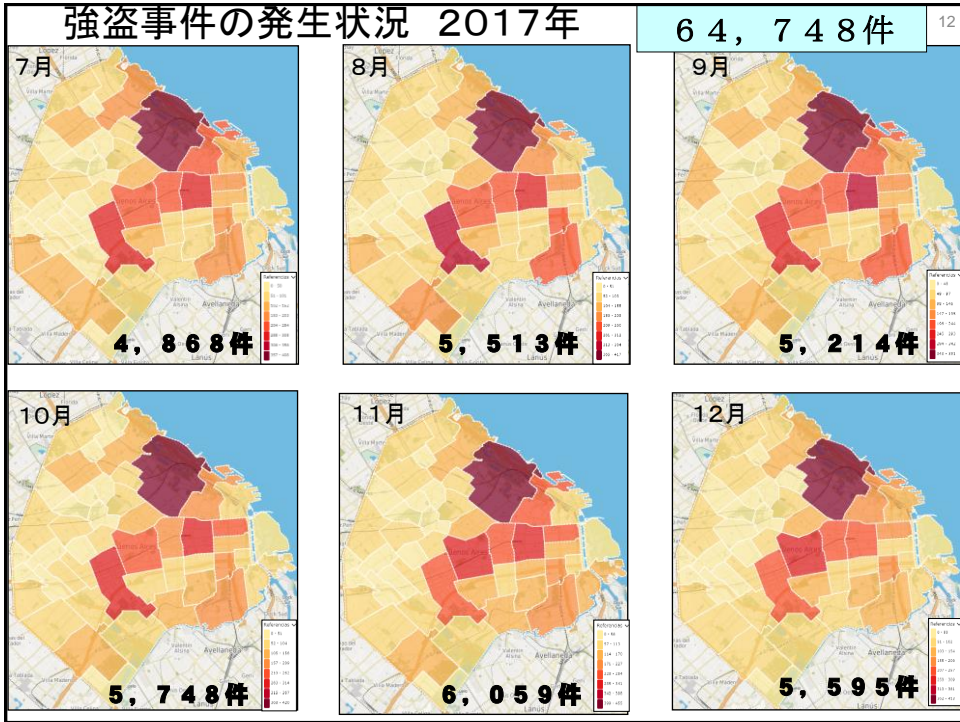
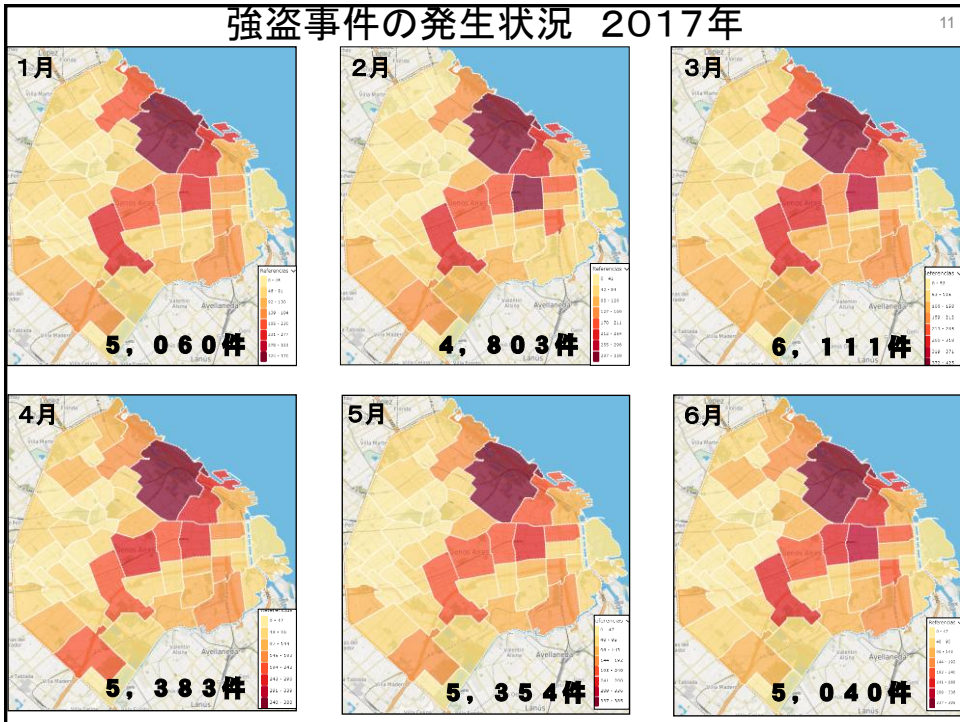
余 白

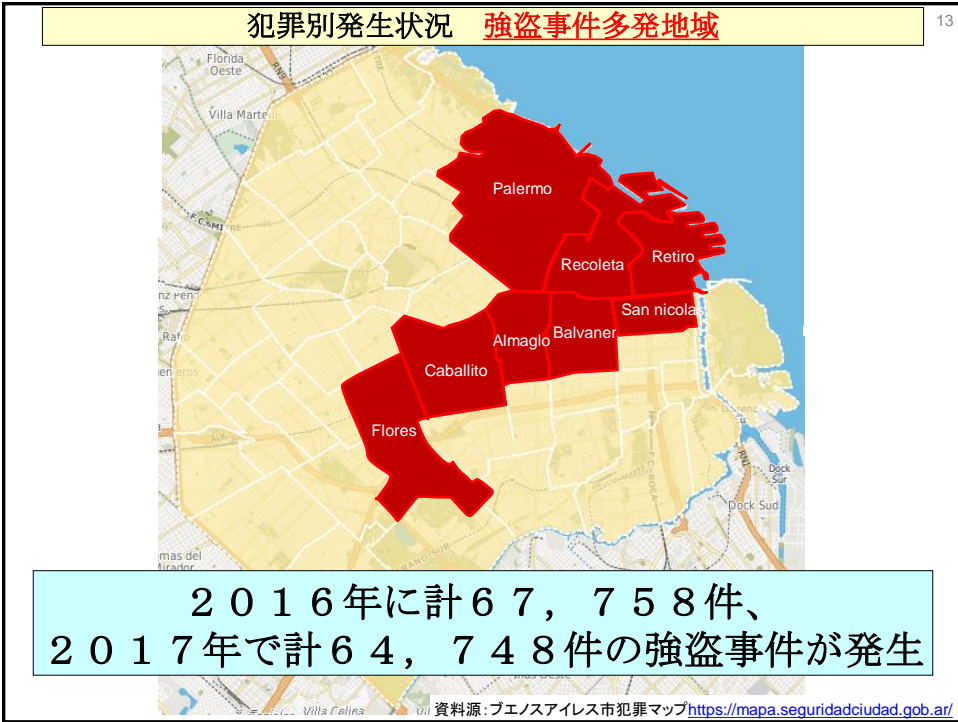






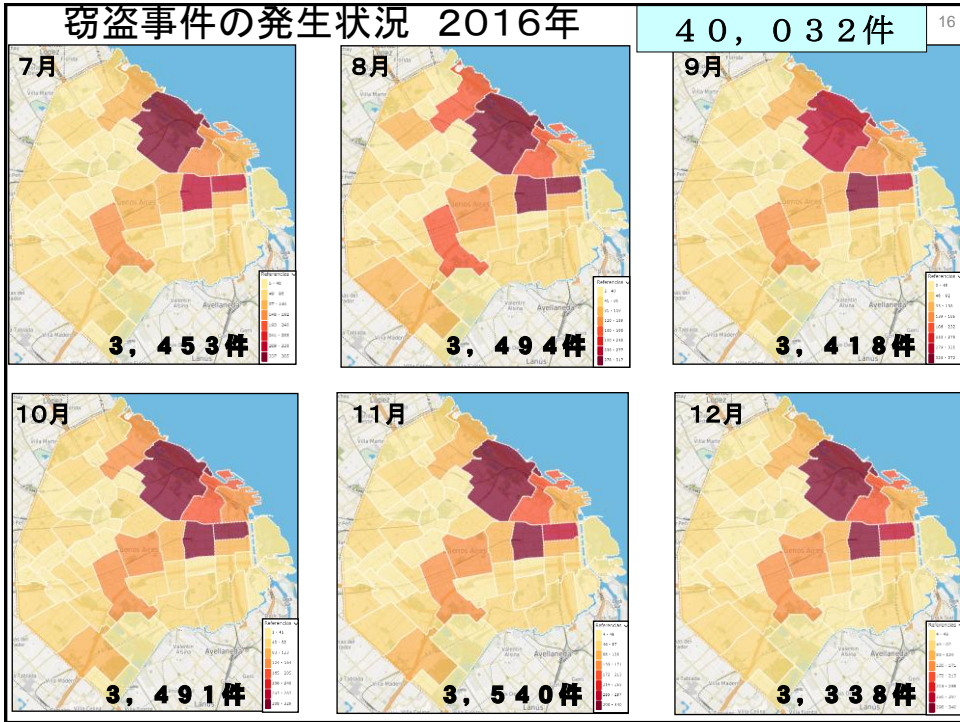
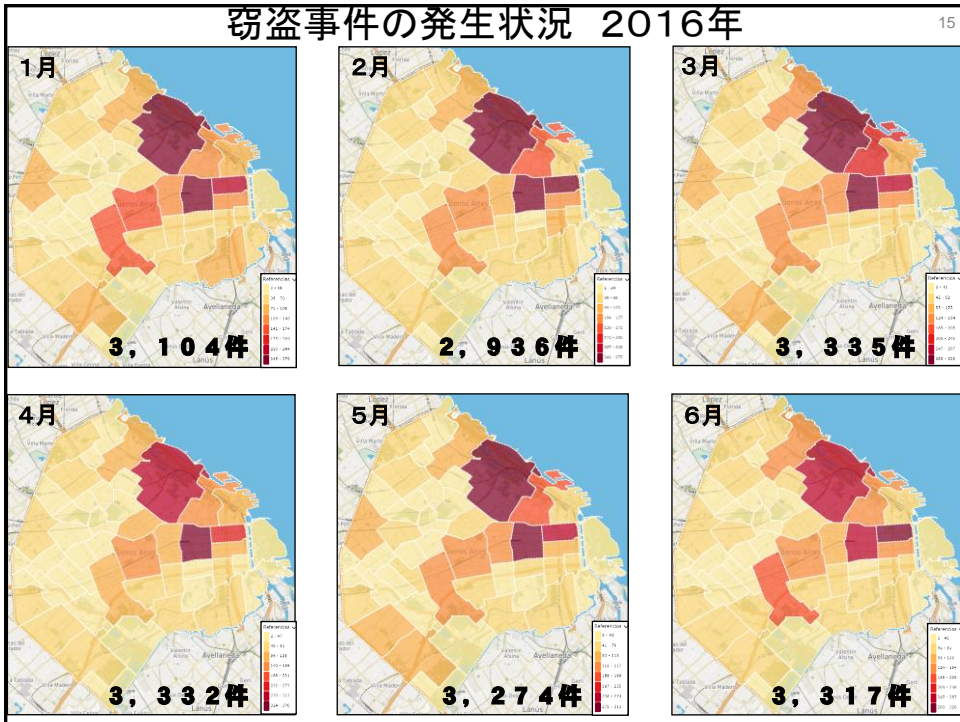


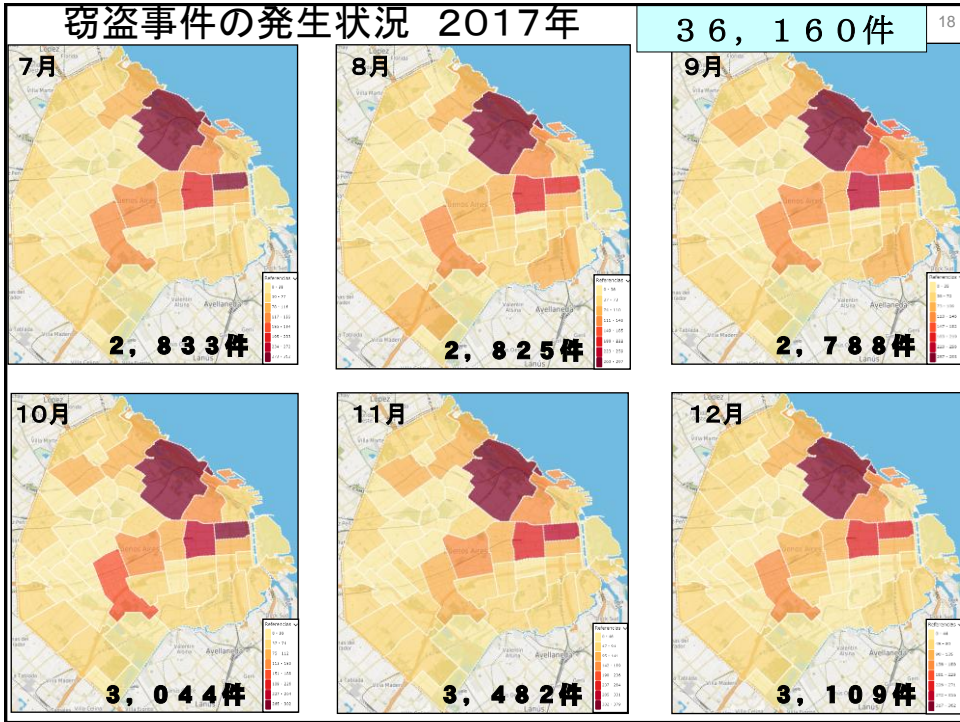
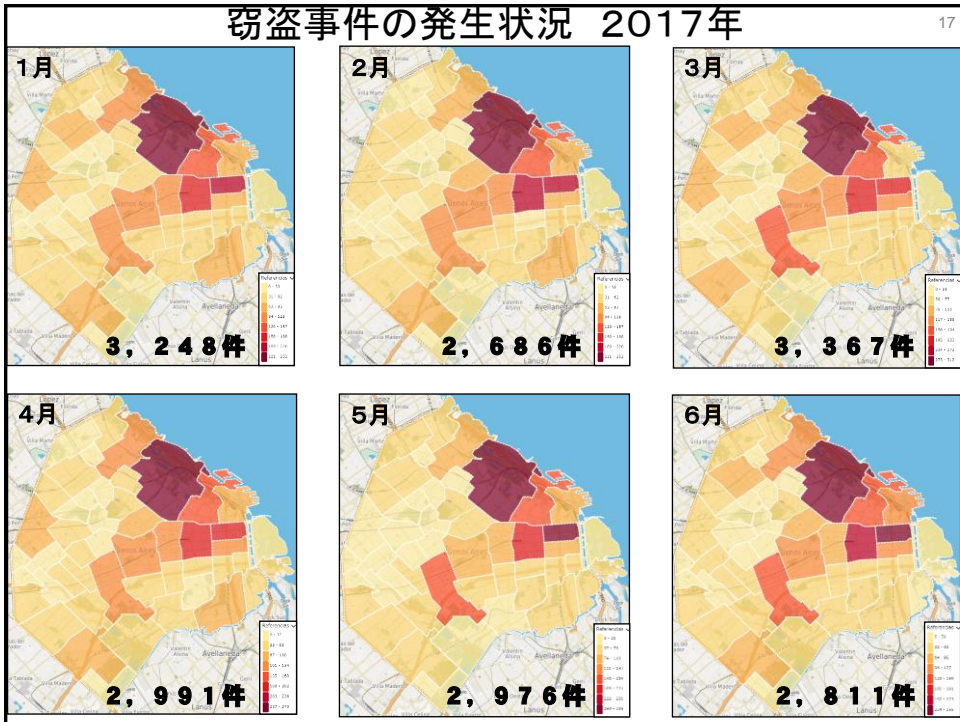


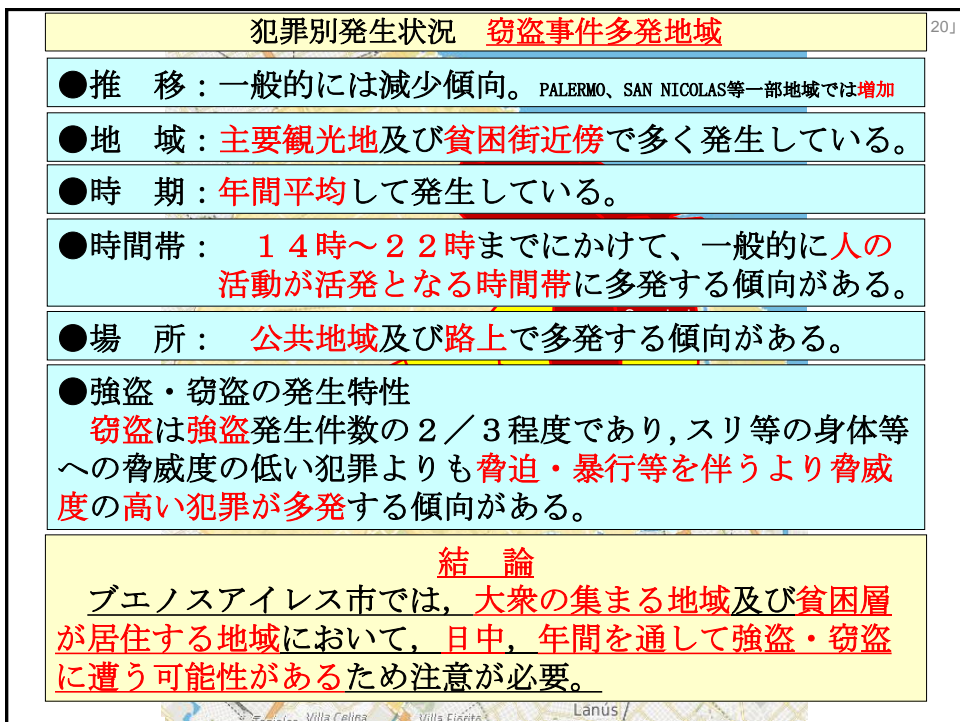
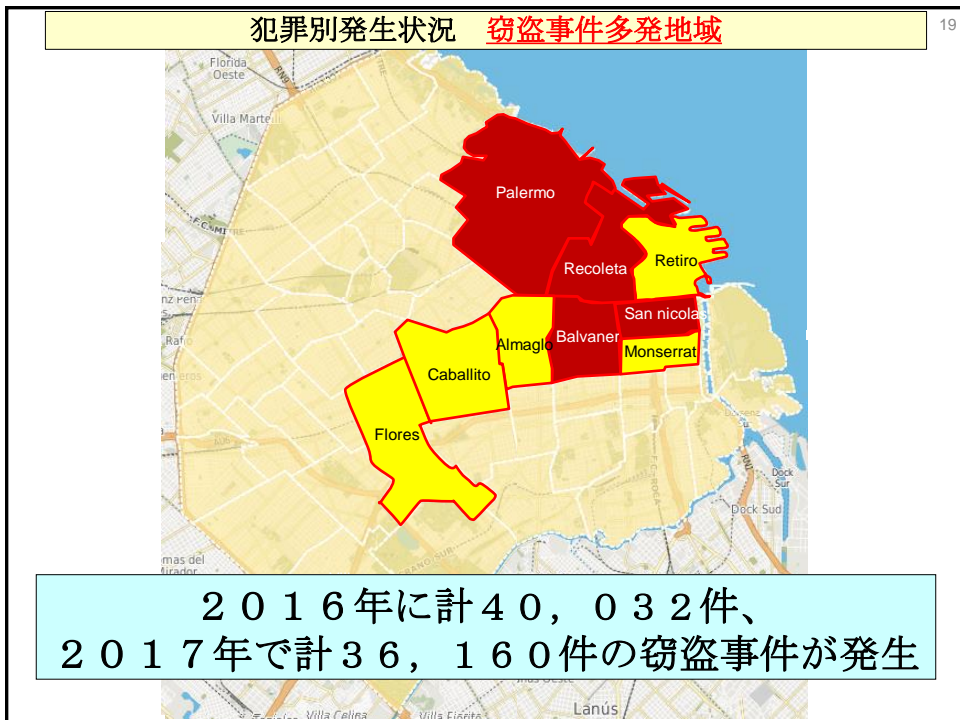


14

余白







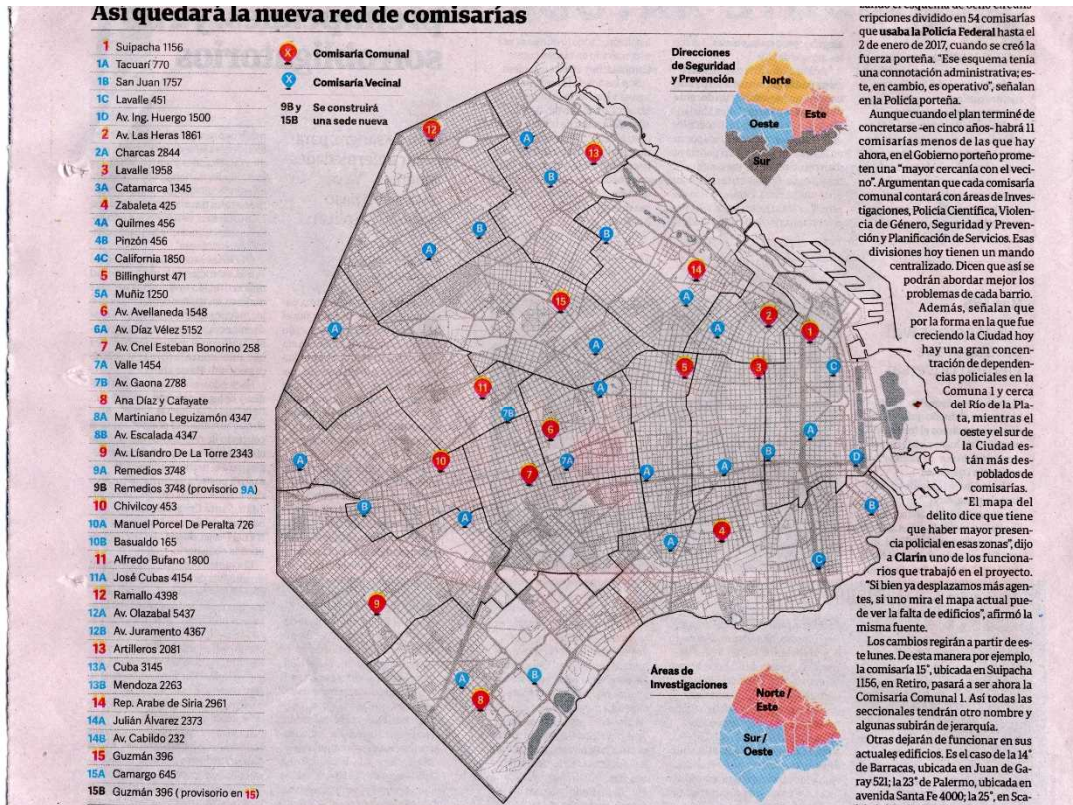
POLICIALES

Anuncio oficial • El proyecto culminaría en 2023

Cambios en la Policía de la Ciudad: reducen la cantidad de comisarías

En total serán 43, once menos que el actual esquema, heredado de la Federal. Construirán nuevos edificios y algunos de los actuales se destinarán a otras áreas.

Así quedará la nueva red de comisarías



El plan de reorganización de la Policía de la Ciudad divide las descripciones en 54 comisarías que usaba la Policía Federal hasta el 2 de enero de 2017, cuando se creó la fuerza porteña. "Ese esquema tenía una connotación administrativa; este, en cambio, es operativo", señalan en la Policía porteña.

Aunque cuando el plan termine de concretarse -en cinco años- habrá 11 comisarías menos de las que hay ahora, en el Gobierno porteño prometen una "mayor cercanía con el vecino". Argumentan que cada comisaría comunal contará con áreas de Investigaciones, Policía Científica, Violencia de Género, Seguridad y Prevención y Planificación de Servicios. Esas divisiones hoy tienen un mando centralizado. Dicen que así se podrán abordar mejor los problemas de cada barrio.

Además, señalan que por la forma en la que fue creciendo la Ciudad hoy hay una gran concentración de dependencias policiales en la Comuna 1 y cerca del Río de la Plata, mientras el oeste y el sur de la Ciudad están más desdoblados de comisarías.

"El mapa del delito dice que tiene que haber mayor presencia policial en esas zonas", dijo a Clarín uno de los funcionarios que trabajó en el proyecto. "Si bien ya desplazamos más agentes, si uno mira el mapa actual puede ver la falta de edificios", afirmó la misma fuente.

Los cambios regirán a partir de estos meses. De esta manera por ejemplo, la comisaría 15, ubicada en Suipacha 1156, en Retiro, pasará a ser ahora la Comisaría Comunal 1. Así todas las seccionales tendrán otro nombre y algunas subirán de jerarquía.

Otras dejarán de funcionar en sus actuales edificios. Es el caso de la 14 de Barracas, ubicada en Juan de Garay 52; la 23 de Palermo, ubicada en avenida Santa Fe 4000; la 25, en Scalabrini 1990; la 26, en...

ブ市警察の警察署改革

7月1日から、ブ市警察は警察署の運営改革を行う。5年かけて実施されるこの改革プロジェクトは、連邦警察から受け継いだ54の警察署を43に減らし、市の行政区域のように15のコーナー警察署 (Comisaria Comunal) と28の分署 (Comisaria Vecinal) に管轄エリアが変更される。それぞれのコーナー警察署 (Comisaria Comunal) には、科学警察、DV、警備・防犯と企画の部署が設けられる。警備・防犯部は、東西南北の4つの地域に分けられ、捜査は北東と南西の2つに分けられる。

警察署の位置については、現在の建物の再利用や、犯罪マップの分析に基づいて戦略的に新たに創設されるものもあり、より市民に近い警察署を目的としている。